

○ 岩波文庫 種の起源(上・中・下) グーウィン著 八杉竜一訳

有名な初版の訳である。今度(下)がでて、ようやく完結した。(上)は1963年,(中)は1968年,(下)は1971年と8年ばかりかかったことになる。進化論の専門家であり、又、ジャーナリストとして知られている訳者のすばらしい文章とゆきとどいた神経に感謝したい。

この訳の完成によって、生物学の最高の古典が身近なものになった。最近の教科書などには“種の起源”を読まないで書いたと思われるような進化論の説明が見うけられることがある。私は店頭で並ぶのが待遠しく、手に入れると、いづれも一気に読んでしまった。教科書にあきあきした生徒・学生諸君にとっても魅力があるに違いないと思う。そのことは日本の生物学を確実な土台の上に建設することになるのである。

これを使った自主ゼミなどがきつと行なわれることだろうと私は思う。(古池 博)